

一般社団法人 日本応用地質学会

令和7年度・2025 年度

第5回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会 議事録

日 時：2026年1月22日(木) 15:00～17:30

場 所：日本応用地質学会 事務局、Zoom を用いた Web 会議(併用)

出席者：長谷川委員長、菊地副委員長、加地委員、小泉委員、崎田委員、外山委員、野々村委員、水野委員、

山崎委員、山田幹事

委任状提出：鎌田委員、昆委員、濱田委員、百嶋委員、百瀬委員

議事：

1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2025年11月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。
- ・国際活動の参加レポートについて、学会誌掲載に向けて準備を進める。
- ・IAEG2026 Congress(2026年10月末)への参加に関連して、調査団を結成する方向で準備を進める。

2. 理事会報告

- ・前回理事会(R7_第7回)の議事録の内容について説明がなされた。

3. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1) IAEG 事務連絡

1) ARC16 関連(2027.11.24～26、泉佐野市:エブノ泉の森ホール)

- ・準備状況について説明がなされた。次回実行委員会の開催に向けた準備について、役割を分担して進めることとした。
- ・上記対応に協力する委員については、ARC16 開催特別実行委員会に参画する方向で調整する。
- ・IAEG 理事会＆総会は、ARC16 に合わせて日本で開催する方向で調整を進める。まずは理事会及びARC16 実行特別委員会で JSEG 内の合意を得たうえで、正式文書を IAEG 事務局に提出し、IAEG Midyear Meeting (2026年5月頃にニュージーランドで開催予定)で承認してもらう形とする。
- ・フライヤーについて、今後は内容を一部更新した上で増刷し、2026 年開催イベント(JSEG シンポジウム&研究発表会、IAEG Congress など)で配布する。

2) ARC15 関連(2025.11.27～29、ネパール、カトマンズ)

- ・海外調査団報告書のとりまとめ進捗状況について説明がなされた。次回の国際委員会に合わせて、調査団報告会を開催する方向で調整する。

3) 東アジア地域若手技術者交流会 関連

- ・交流会の開催運営にあたっては、多くの課題が認識された(役割分担、事前広報など)。今後の国際イベント開催のためにも、今回の課題や反省点を整理して委員会内で共有を図る。なお、今後も交流会を継続して開催できるよう、参加各国(中韓台)との情報共有を図っていく。
- ・「東アジア」の言葉について、今後の公式イベント(3か国共同イベント等)では使い方に十分注意する。

4) 日韓台 3か国交流 関連

- ・次回開催国は日本となったため、2026 年研究発表会@長岡で共同セッションを開催する方向で調整を進める。

5) IAEG Newsletter (No.2～4)

- ・掲載記事について説明がなされた。

- ・次号(2026年No.1、3月末頃に入稿〆切予定)に向けて、原稿用素材(2025研究発表会&東アジア若手交流会、海外シンポジウム参加(ARC15、台湾シンポジウム)など)の準備を進めておく。

(2) その他

1) 国際委員の会費改訂について

- ・昨今の金融情勢を踏まえた会費改定案について説明がなされた。
- ・2026年度から個人会費を4千円に変更することで次回理事会に諮るとともに、会告準備も進める。
- ・国際委員会としての活動費用(特に海外でのIAEG主催イベント参加など)について、田中基金から費用補助を得られるように理事会で審議してもらう。

2) 論文賞ほか委員の選任

- ・論文賞ほか委員の選任について説明がなされた。

3) 2026年研究発表会～日韓台共同セッションの開催について

- ・共同セッションの開催案について説明がなされた。
- ・参加費:前例(韓国、台湾)に倣って、海外からの参加者は無料とする方針とする。
- ・2月には事業企画委員会へ発表計画を提出する必要があるため、準備を進める。
- ・理事の一部からは、「今年のシンポジウムをARC16開催へ向けたアピール(JSEGの国際活動が学会員にプラスとなる)の場として活用してはどうか?」との意見がある。次回理事会にて関係者の意向を確認してみる。

4) 学会誌 Bulletin 紹介

- ・次回以降の執筆担当者について、現時点未執筆の委員に依頼する。

5) 海外シンポジウム

- ・現在、学会HPに掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で、JSEG_HPのトップページ及び学会NLでの周知を手配する。

4. ホームページ関係

(1) 英語版 HP

- ・HPのリニューアル素案について説明がなされた。
- ・推進メンバーを中心として、引き続き更新方針の検討を進めて行く。

(2) 日本語版 HP

※特になし

5. その他

- ・次回委員会(令和7年度_第6回)は、令和8年3月に開催する方向で調整する。

以上